

製品名: Bob 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07622**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	POU2AF1 OBF1
別名	POU domain class 2-associating factor 1 (B-cell-specific coactivator OBF-1; BOB-1; OCA-B; OCT-binding factor 1)
遺伝子 ID	5450.0
SwissProt ID	Q16633
免疫原	アミノ酸配列範囲: 201~250 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

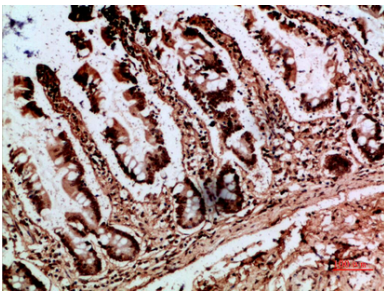
疾患: POU2AF1/OBF1 に関わる染色体異常は、ある種の B 細胞白血病の原因となる可能性がある。転座 t(3;11)(q27;q23) と BCL6。

機能: OCT1 または OCT2 のいずれかと特異的に結合する転写共役因子。OCT1 を介したプロモーター活性を高め、OCT2 のプロモーター活性もそれより弱い程度に高める。固有の DNA 結合活性はない。OCT1 および OCT2 の POU ドメインを認識する。B 細胞の抗原応答に必須であり、胚中心の形成に必要である。、PTM: ユビキチン化; SIAH1 または SIAH2 によって媒介され、その後のプロテアソームによる分解につながる。、類似性:POU2AF1 ファミリーに属します。、組織特異性:B 細胞特異的。、疾患:POU2AF1/OBF1 を含む染色体異常は、ある種の B 細胞性白血病の原因である可能性があります。転座 t(3;11)(q27;q23)と BCL6。、機能:OCT1 または OCT2 のいずれかに特異的に関連する転写コアクチベーター。OCT1 媒介プロモーター活性を高め、OCT2 のプロモーター活性もそれより低い程度に高めます。固有の DNA 結合活性はありません。OCT1 および OCT2 の POU ドメインを認識します。B 細胞の抗原への応答に必須であり、胚中心の形成に必要です。、PTM:ユビキチン化; SIAH1 または SIAH2 によって媒介され、その後プロテアソームによる分解につながる。、類似性:POU2AF1 ファミリーに属する。、組織特異性:B 細胞特異的。、

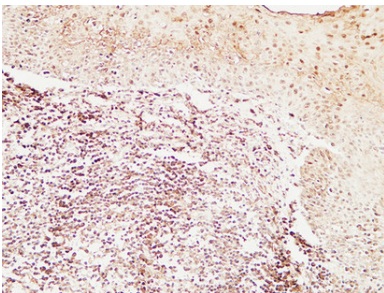
研究分野

免疫学、適応免疫、B 細胞、非 CD、エピジェネティクスと核シグナル伝達、転写、ドメインファミリー、発達ファミリー、POU

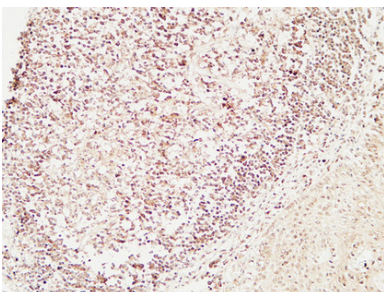
画像データ



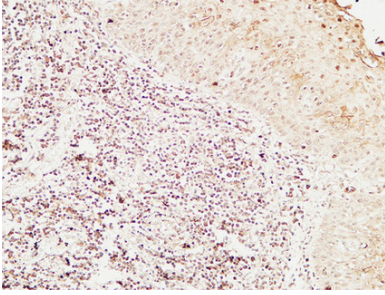
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



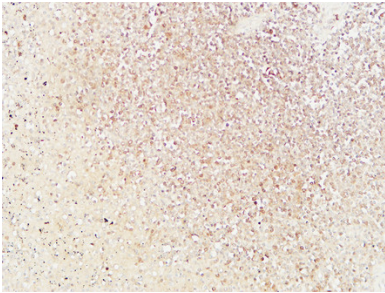
パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。